

## 資産運用レポート：バリューストックの売り時

### 1 はじめに

今回は、今となっては笑い話として紹介できる昔話にお付き合いください。

時は 2003 年。この年は、2000 年以降下げ続けた日経平均が下げ止まらず、3 月に 20 年振りの 8 千円割れを起こすという最悪の展開でした。私自身も持株の含み損で血まみれでしたが、まだ心は折れていませんでした。

そんな中、2003 年 4 月 1 日にエン・ジャパン（4849）株を買い付けます。高成長が期待できるにもかかわらず、投資心理の冷え込みによって割安のまま放置され、PER 10 倍程度のバリューストックでした。

ただ当時の株価は 1 株 661,000 円（株式分割調整後 275 円）で、資金の少ない私にとっては思い切った投資です。同社株の商いは閑散としていましたが、指値を入れ続け、ほぼ底値で買えました。

日経平均は、4 月に付けた 7,607 円が大底でした。5 月には、小泉政権による「りそな銀行救済（国有化）」が発表され、投資家心理は一気に改善します。株式市場は上昇に転じ、エン・ジャパンもその流れに乗りました。

9 月より上昇に弾みのついた同社株は、10 月にザラバで 1,237 円（株式分割調整後）の高値を付け、買値の 4 倍を上回ります。ここまで読まれて、皆さんは「さぞかし、儲かったのだろう」と思われるでしょう。

### ★エン・ジャパン 株価チャート（2003 年、日足）

